



Bringing value to life.

日本郵船グループ 採用パンフレット



数字で見る! 日本郵船グループの **ここがすごい!**

海上輸送に始まり「海陸空」全ての輸送網を有する総合物流企業として、地球全体を舞台に活躍してきた日本郵船グループ。総合物流企業の枠を超え、社会のため、そこで暮らす人々のため、今後も未来に必要な価値を共創していきます。

海運業とは? 日本郵船グループとは?

日本の貿易量 **99.6%**は船が担う



海に囲まれた島国である日本は、多くの国との貿易に船を使っており、その割合は輸出入に占める重量ベースで99.6%にも及びます。海運業は日本にとって必要不可欠であり、まさに産業を支える動脈と言えます。

日本郵船の規模と競争力



日本の貿易量のうち80%以上を日本郵船が担っています。その中でも日本郵船グループは世界最大の船隊規模を誇ります。さらに、それぞれの船種においても日本郵船グループは世界有数の競争力を有しています。

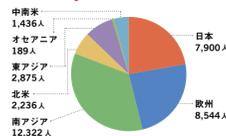


こんなにたくさんの産業を支えている

私たちの生活に必要な食料、衣類、木材、原油・ガスなどのエネルギー資源、鉄鉱石などの工業原料、自動車、機械類など多くの産業を支えています。

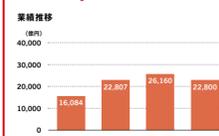


総従業員数 **35,502人**



バックボーンや国籍の違う様々な従業員が活躍しています。ここで出会う多くの人々がそれぞれの想いを持ち、グループ全体で価値を提供しています。

連結売上高 **26,160億円**



中核事業の深化と新規成長事業の進化で、社会に貢献し持続的成長を続ける企業グループを目指します。

日本郵船の歴史

岩崎彌太郎

我ら一艦の船を浮かべれば、世に一層の便をもたらし、その利は全人民の頭上に落つる理なり

(当社による意訳を行っています。)日本郵船グループの前身は、岩崎彌太郎が1875年に設立した三菱財閥の源流となる郵便汽船三会社です。明治の激動の時代に、人々に暮らしの豊かさを強く願う彌太郎の使命感を象徴するこの言葉は、時代を超えて「モノ運びを通じて人々により豊かな生活をもたらす」という意味を持つ、私たち日本郵船グループのミッション「Bringing value to life.」につながっています。



写真提供: 三菱史料館

日本郵船グループの **ここがすごい!**

1 人材育成

日本郵船グループでは、会社を支える「人材の育成」に力を注ぎ、成長しながら働くことのできる環境づくりに取り組んでいます。

NYK ビジネスカレッジ参加者 **2,228名以上**

日本郵船グループの幅広い事業分野において、高い専門性と広い視野を持つビジネスリーダーになるための多彩なプログラムを用意しています。

NYK ビジネスカレッジ 主なプログラム

日本郵船グループについて知る **ESG 研修**

専門的な業務知識を学びたい **海運実務に特化した会計研修、法務研修等**

船のことにもっと詳しく知りたい **船舶運航管理者研修、乗船研修**

語学を磨きたい **英語講座、中国語講座等**

自分のペースで好きな分野を学びたい **通信講座**

2 福利厚生

業務外での活動でも、グループ全体で一丸になって交流を図っています。

スポーツフェスティバル **31社 869人**

水上運動会 **22社 795人**

保養所・社員倶楽部 **3箇所・2箇所**

ニ引会(クラブ・サークル) **合計 20の班**

グループ会社従業員も含め、親睦・福利厚生を目的とした班活動を任意で実施しています。合計20の班に分かれ、スポーツや芸術活動等に取り組んでいます。

3 環境・ESG

1885年から築き上げてきた事業基盤を通じて、企業価値を持続的に向上するため、日本郵船グループはESG経営を掲げています。

脱炭素

持続可能な社会すなわち「青く美しい地球」そして「次世代に安心して引き継げる社会」の実現を目指しています。脱炭素化をはじめとした気候変動対応に加え、気候変動と密接に関連している自然資本に対する取り組みを加速させ、お客さまやパートナーの皆様とともにバリューチェーン全体でさまざまな取り組みを共創していきます。

紀州みなべのアカウミガメ調査プログラム

広大な海を回遊するウミガメに当社イメージを重ねた環境分野の取組として2016年に始まりました。日本ウミガメ協議会研究者の指導のもと、産卵のため上陸するアカウミガメの夜間調査を実施しています。絶滅危惧種であるアカウミガメの生態解明と保全に貢献し、またグループ従業員が海洋環境への興味関心を深める一助となっています。

D&I (ダイバーシティ & インクルージョン)

自由闊達で多様性を認め合い、チャレンジを後押しする企業風土の中、性別・国籍を問わず多種多様な人材が活躍しています。グローバルに事業展開する日本郵船グループの従業員数は約35,000人、このうち8割強が日本以外の地域で勤務しています。

DX グランプリ企業 2023

特に優れた取組を行った **企業 2社の1つとして選定**



ヒトの技術力にDXの多様な取り組みを融合し、人、現場、データ収集・活用において成長を続けています。当社技術本部やグループ会社の技術集団を中心に多岐にわたる安全運航や環境負荷の低減など、さまざまな業務改善を支える開発を行っています。2023年には「DX グランプリ企業2023」に選定されました。

日本郵船グループの仕事を **志向** で探す



A **世界及び日本経済の発展や人々の生活を支えたい**

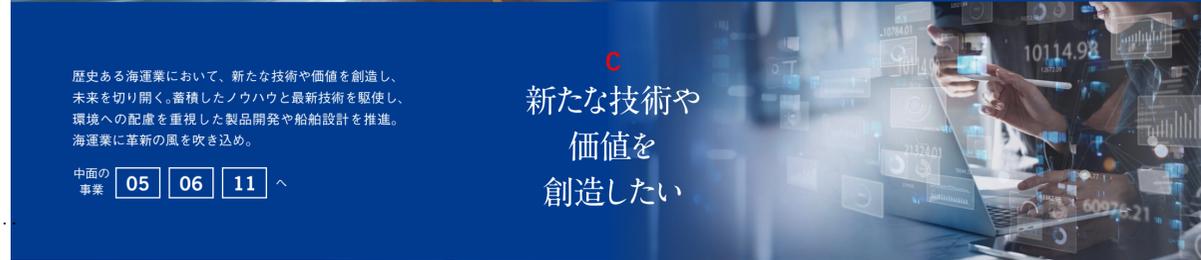
中面の事業 **01 02 03 07 08**



B **現場力で物流を支えたい**

物流の舞台裏で巧みに手腕を振るいたい。荒波にも負けず、確かな技術と迅速な対応で、船舶が円滑に航行し、貨物が確実に目的地に届くことを実現したい。その力で世界と日本の経済に新たな躍進をもたらす。

中面の事業 **01 02 03 04 08**



C **新たな技術や価値を創造したい**

歴史ある海運業において、新たな技術や価値を創造し、未来を切り開く。蓄積したノウハウと最新技術を駆使し、環境への配慮を重視した製品開発や船舶設計を推進。海運業に革新の風を吹き込み。

中面の事業 **05 06 11**



D **船を操縦したい**

自らの技能と現場感覚を武器に、大海原を舞台上に安全かつ安定した輸送を現場で担う。仲間と一緒に海運の最前線に立つプロフェッショナルを目指せ。

中面の事業 **01 02 07 09**



E **海上輸送を技術で支えたい**

海上輸送において、深い知識と緻密な計画で物流を支える。船舶の運航を管理し、安全な輸送を実現。さらに確かな技術力で次世代のモノ運びをリード。

中面の事業 **01 04 05 06**



F **事業の管理、運営をサポートしたい**

事業の管理と運営を支え、企業の航海において確かな舵手になりたい。優れた人材の配置、健全な会計管理、IT技術による変革など、経営のあらゆる側面から船団を安定かつ成功へと導く。

中面の事業 **04 09 10 11**

